

● フェンシング部 インターハイ報告



本校フェンシング部のK.K.さん（3年）が、8月4日より鳥取県宍道市で開催された「開け未来の扉 中国総体 2025」（インターハイ）のフェンシング競技に出場しました。結果は、プール戦3勝2敗でトーナメント戦に進出、2回戦まで進み、ベスト32となりました。

応援ありがとうございました。

写真左：
アタックを決めるK.K.さん

● 陸上競技部 東北新人大会

「男子円盤投げ」出場、「女子800m」6位入賞！！

陸上競技の東北新人大会が、キューアンドエーススタジアムみやぎ（宮城スタジアム）にて、9月25～27日にかけて行われ、本校陸上競技部の生徒2名が出場しました。2年生のO.K.さんが円盤投げに出場し、女子800mに出場した2年生のT.K.さんはみごと6位入賞となりました。

● 第1弾 「あとの人の『仕事！』論。」

7月25日、企画部の菅原先生による「あとの人の『仕事！』論。」が行われました。様々な分野で働く方をゲストとして招き、仕事を選んだ理由や、やりがい、難しさなど、様々な観点から話を伺う、新しい企画です。社会人のお話を直接聞くことで、自分のキャリア形成に生かすことができるのではないかでしょうか。第1弾のゲストは、仙台赤十字病院 NICU（新生児特定集中治療室）に勤務されている看護師の大場有紗さんです。大場さんは、幼いころから災害と医療に興味をもち、大学では災害看護学を専攻しました。現在は、災害発生時に被災地で活動する赤十字の救護班で活動することを目標としています。

この日は、参加した生徒たちとの間で活発な質疑応答がなされ、たいへん充実した時間となりました。



●合唱部「全国総文祭かがわ総文 2025」

本校合唱部は、7月31日に行われた「全国高等学校総合文化祭かがわ総文 2025」合唱部門に参加してきました。

大会前日の合唱講習会では、作曲家の三宅悠太先生の楽曲「学ぶ」を全国の合唱部の仲間たちと歌いました。指揮者本山秀毅先生のご指導を頂きながら、西日本の熱い音楽に刺激を受け、とても有意義な時間を過ごすことができました。

大会当日は、杜の都仙台を想わせる「うすく溶けるグリーン」と、ヘンデル原曲で仙台に縁のある作詩・編曲者の「ありがとう」を演奏させていただきました。震災を経て作られた曲ですので、命への感謝を込めて演奏してきました。ホールの響きの美しさにも感激しました。

このような貴重な経験をさせていただけたことに感謝申し上げます。この経験を糧に、これからも南高サウンドを響かせていきます。(合唱部より)



●合唱部「全日本合唱コンクール東北大会」

本校合唱部が、8月30日「全日本合唱コンクール宮城県大会」で金賞を受賞し、9月26日に盛岡市で行われる東北大会へ出場いたしました。様々なご配慮に感謝申し上げます。引き続き頑張って参りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。(合唱部より)

●南高祭 熱い2日間終える

「南高祭」が8月29、30日に行われました。1日目には、体育館にて吹奏楽部、合唱部、軽音楽部による演奏と、3年生のステージ発表などがありました。1日目の夕方には、有志団体による中夜祭が行われました。一般公開となる2日目には、地域の方や中学生など1500名を超える方々にお越し頂きました。「おもてなし」の心を意識し、それぞれの団体が工夫を凝らした出店を行いました。

